

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

第18回理事会 議事要旨

1 開催日時

2024年6月19日（水）10時25分～11時11分

2 開催場所

東京商工会議所 5階 渋沢ホール ※WEB会議併用
(東京都千代田区丸の内3-2-2)

3 議事の経過及び結果

【決議事項】

第1号議案 「事務総長及び事務次長の選定について」

議長は、定款第21条第3項及び第29条第3号の規定により、事務総長（代表理事）、及び事務次長（業務執行理事）について、次のとおり選定することを議場に提案し、満場一致をもって原案は可決された。

事務総長(代表理事)

河村 正人 理事

事務次長(業務執行理事)

佐藤 速水 理事

【報告事項】

第1号 「政府委員の就任について」

2024年4月1日施行の「2027年国際園芸博覧会政府委員の設置に関する臨時措置法」に基づき、4月2日（火）の閣議決定をもって、越川 和彦氏が2027年国際園芸博覧会政府委員に任命されたので報告した。

第2号 「GREEN×EXPO2027の進捗状況について」

GREEN×EXPO2027の進捗状況について、資料1のとおり報告した。理事からは報告事項について、次のとおり発言があった。

- ・期間中の出展のクオリティチェックについてどのように考えているか。

- ・企業が協賛すること自体が、企業がサステナビリティ戦略をアピールできる場になれば、募集の追い風になると思う。
- ・昨今の働き方を踏まえて会場にワーキングスペースを設ける等の検討はあるのか。
- ・ネイチャーポジティブを発信する場として日本ゾーン・SATOYAMA ゾーンの内容を検討しているか。また、COP との連携についてもお聞きしたい。
- ・日本ゾーンでの日本庭園等の展示についてはどのように進んでいるか。
- ・開催期間中は台風等が発生しやすい時期であるが、気候条件についての対応はどうか。また、来場者の会場での過ごし方についてイメージできるようなものがあると良い。
- ・博覧会は世界から才能が集まるチャンスのも場であり、新しい世代のスターを生み出せるような機会になれば良いと思う。出展者だけでなく若い起業家やクリエイターとの意見交換等を進める場があると良い。
- ・ネットゼロの取組みと生物多様性の視点は両方とも重要である。ネットゼロに向かう姿勢は Urban GX Village で打ち出せると思う。生物多様性については、人が自然の中で営み続けるということが非常に大事だと思う。その意味で日本の自然を象徴するものとして SATOYAMA village を生かして世界に向けて発信して欲しい。また生物多様性の観点では、環境と調和した農業が非常に大事であり、Farm&Food Village でも生物多様性を意識させるものが必要だと思う。

第3号 「2024年度の理事会総会等の予定について」

2024年度の理事会総会等の予定について、資料2のとおり報告した。

以上をもって、議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は11時11分に閉会を宣言し、解散した。